



● 9月議会で代表質問に立つ木沢成人議員 (2007年9月21日)

9月滋賀県定例会
県政の重要課題を問う!
木沢成人議員が代表質問

Q. 新幹線新駅の「凍結」は「中止」か

10月末までに正副会長会議で合意できない場合は、現行協定類の終了であるとの認識を初めて示されましたが、このことは現行協定類に基づく**新駅設置事業の中止**であると理解していいでしょうか。

A. 嘉田由紀子知事

「新幹線新駅問題の解決に向けた県の方針」にあるとおり、4月24日に締結した覚書による協定類の終了を示しています。このことは、「現行協定類に基づく」**新駅設置事業が中止となること**を意味していません。

新幹線新駅問題を詳しく知りたい方は <http://www.pref.shiga.jp/a/shinkansen/index.html>

行財政改革の方針

Q. 知事は、リーダーとして、歳出削減の必要性等を県民や職員に示した上で、歳入増を含む「未来への展望」を示し、マニフェストとの整合ある県政経営方針を打ち立てる必要があると思っておりますが、どのようにお考えですか。

A. 嘉田由紀子知事

マニフェストを掲げて県政をお預かりすることになった私自身としては、地域経営者としての基本構想の推進と行財政改革の推進を図っていくための、いわば「**県政経営**」の考え方を明確にすることが必要と認識しています。この県政経営の考え方を、歳出見直しが必要となる背景も含めて、県民の皆さんにわかりやすい形で早急に示したいと考えています。

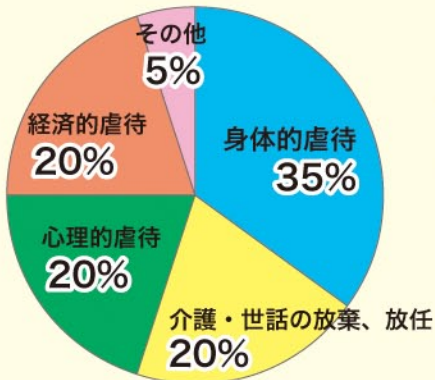
介護保険サービスの充実を

Q.

高齢者虐待の実態と対応策について

A. 健康福祉部長

【高齢者の虐待状況】
(18年度：202件状況別内訳)



- 防止策として…**
- ・擁護者に対する助言や指導
 - ・ケアプランの見直し
 - ・施設への入所 (防止困難な場合)

県では「高齢者成年後見支援センター」を、専門的知識を持っており、NPO法人に設置し、市町職員に専門的助言を行うとともに、虐待事例の研究等を行う「**高齢者虐待問題研修会**」を開催しています。また、広く県民の皆さんを対象に「**高齢者虐待防止セミナー**」や「**身体拘束廃止セミナー**」を開催しています。今後とも、高齢者と家族を支えるための専門的知識の普及や対応力の向上、地域における高齢者虐待の未然防止などに取り組んでいきたいと考えています。

滋賀県議会のホームページでは議場録画中継や会議録を閲覧することができます。 <http://www.pref.shiga.jp/gikai/>

会派理念

「対話の会・びわこねっと」は、県民党の立場に立ち、「もったいない」を活かす滋賀県政発展のため、嘉田由紀子知事と協働して、積極的に活動します。

会派議員紹介



【びわこねっと代表】
さわだ たかこ
沢田享子
大津市選挙区
・文教警察・企業常任委員会
・環境・防災対策特別委員会
委員長



【滋賀県議会 副議長】
すみかわ まこと
角川 誠
長浜市・東浅井郡選挙区
・厚生・産業常任委員会



【びわこねっと副代表】
さし たけし
佐橋 武司
蒲生郡選挙区
・議会運営委員会
・総務・政策常任委員会
・地方分権・財政対策
特別委員会
・都市計画審議会



【政策調整担当】
しみず てつじ
清水 鉄次
高島市選挙区
・環境・農水常任委員会
副委員長
・少子高齢化対策特別委員会
・琵琶湖淀川水系問題対策
特別委員会



【広報担当】
もくざわ まさと
木沢 成人
東近江市選挙区
・生活文化・土木交通
常任委員会
・経済振興対策特別委員会
・琵琶湖淀川水系問題対策
特別委員会

その他の質問項目

- 淀川水系河川整備計画原案について：大戸川(だいがわ)ダムが、国の整備計画原案の段階で整備促進に変わった理由と、県の評価について
- 造林公社の抜本改革について：下流社員や農林漁業金融公庫との償還交渉の経過、森林の資産価値の算定を踏まえた、子や孫にツケを残さないための抜本改革の具体的な内容について
- 廃棄物問題について：来年度開場する廃棄物最終処分場(クリーンセンター)滋賀)の採算と、滋賀県環境事業公社の今後の経営の見通しについて
- 防災対策について：木造住宅の耐震診断・耐震改修の現状と目標達成について
- 教育問題について：子ども・保護者・教職員のストレスに関する対策について
- 地域産業の再生について：現在の取組みと今後の支援について